

2013年9月26日(木)より、岩手医科大学リポジトリ(<https://iwatemed.repo.nii.ac.jp>)の学内限定試験公開が始まりました。その概要を、Q&A形式でご紹介していきます。

『機関リポジトリとは?』

リポジトリには元々、容器、貯蔵庫などの意味があります。機関リポジトリは、機関の教育・研究成果を収集し、電子的に保存すると共にインターネット上で公開するためのシステムです。

『岩手医科大学におけるリポジトリとは?』

「岩手医科大学リポジトリ運用指針」で、「岩手医科大学において生成された学術研究成果物は、岩手医科大学リポジトリに電子的に保存し、その全文を学内外に無償で公開することにより、学術研究の振興および社会貢献に寄与する。」と謳っています。

『大学にメリットはありますか?』

- ・教育・研究活動を可視化し、一般へ公開することで、社会貢献できます。
- ・コンテンツの一元管理により、業績の通覧化が可能になります。
- ・業績をアーカイブとして恒久的に保管することができます。
- ・大学の認知度の向上が望めます。

『研究者にメリットはありますか?』

- ・新たな手段による世界に向けての情報発信が可能になります。
- ・研究成果の可視化により、より広範囲に研究への認知と成果の普及ができます。
- ・研究成果が講座や個人ごとに一覧できるようになります。
- ・研究活動の中で、著作の権利や出版社のポリシーを意識するようになります。
- ・研究成果が恒久的に保管されます。

『社会にメリットはありますか?』

- ・本学の教育・研究成果をバリアフリーに利用できます。
- ・本学活動内容の可視化により、各種組織・機関との新たな連携の機会が得られます。

『登録は誰がしますか?』

個人または講座単位での登録と、図書館での登録が可能です。どちらにしても、最初に図書館までご連絡ください。登録についての詳細は、岩手医科大学リポジトリ「登録について」をご参照ください。

「岩手医科大学リポジトリ」の本公開は10月30日(水)、岩手医科大学の学術研究成果が世界中からアクセス可能となります。10月24日(木)、25日(金)には学内説明会も予定しておりますので、是非ご参加いただき、登録、運用にご協力ください。

\*\*\* 図書館トリビア \*\*\*

リポジトリ関連のポスターやパンフレットなどに登場しているイラストにお気づきでしょうか? 広報担当者が考えたキャラクターで、名前やプロフィールはまだ明かされていませんが、これから広報の様々な場面に登場予定です。どうぞよろしく願いいたします。

メールマガジンに関するご意見・ご質問は、図書館 [tosho@j.iwate-med.ac.jp](mailto:tosho@j.iwate-med.ac.jp) まで。

<編集・発行> 岩手医科大学附属図書館